



議会だより



もくじ

3月定例会の報告	2～5
一般質問に18人	6～15
陳情・12月定例会の委員会意見と当局回答	16
委員会活動報告・管内視察報告	17
市長・市議会議員の同時選挙、議員定数についての協議結果...	18
意見交換会をしませんか？	19
あたたかな笑顔を訪ねて	20
6月定例会のお知らせ・編集後記	20

有子山築城450周年登山イベント ⇒関連記事 裏表紙

発行：豊岡市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
〒668-8666
豊岡市中央町2-4
Tel：0796-23-1119
Fax：0796-24-8041
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
URL <https://www.city.toyooka.lg.jp>

2024年度

当初予算

すべて原案可決



可決した主な議案

2024年度一般会計補正予算

新文化会館整備事業費 15億7,298万円減額

豊岡市の文化創造の拠点となる新たな文化会館の整備について、2026年度の開館に向け2023年度から建築工事を進めていく予定だったが、入札不調により2023年度内の工事契約ができなくなった。このため整備工事および施工監理業務等にかかる予算を減額。

指定管理者の指定、条例改正、2023年度補正予算、2024年度当初予算、2024年度補正予算、教育委員会の委員任命、委員会提出議案などを審議しました。

主な議案の審査状況をお知らせします。



ホームページでも議会の情報をご覧ください。

豊岡市議会

検索

ポチッ

《賛否が分かれた議案》一般会計当初予算

【反対討論】(要旨)

超過課税について、特に個人市民税の超過課税は全国で豊岡市だけあり、所得割に対する超過課税はやめるべきである。

外出支援サービスの料金の2.26倍、**学校給食費**の4年間引き上げは、物価高騰と市内中小企業の賃金が上がらない中で、次年度以降のさらなる引き上げが予告されている。

但馬空港利用促進協議会補助金は、財政が厳しい中で補助率の見直しを図るべきである。よって本案に反対である。(日本共産党豊岡市会議員団議員)

【賛成討論】(要旨)

超過課税は、なくなれば道路整備や防災対策、産業振興などの社会基盤整備の財源を圧迫し、市民がこれまでと同じ水準の行政サービスを受けられなくなるため、必要不可欠な財源である。

外出支援サービス助成事業は、今後も利用実績の増加が見込まれることから自己負担額を増額するもので、**学校給食費の段階的改定**は、新年度以降は給食費の物価高騰に関連する国からの交付金が見込めず、市が負担し続けることは困難であることから改定するものである。保護者への急激な負担増加を緩和するため、市が一部負担しながら4年間かけて段階的に値上げするものであり、物価変動により毎年度価格決定する施策を講じている。

但馬空港利用促進協議会補助金は、但馬地域の交流人口を支える公共交通機関は今後ますます需要が高くなると考え、東京直行便の実現に向け引き続き利用促進に取り組む必要がある。いずれも適切な予算である。

(豊義会、ひかり、令和とよおかクラブ議員)

意見が分かれた議案は起立により採決します



《賛否が分かれた議案》

国民健康保険税条例の改正・国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算

【反対討論】（要旨）

県一本化で2030年度に保険料率を完全統一するため、元が低かった豊岡市は今後も引き上げが危惧される。大きな引き上げであり、少なくとも1億円の基金繰り入れが必要だと考え反対である。
（日本共産党豊岡市会議員団議員）

【賛成討論】（要旨）

3年間の移行期間を設けて、県内の保険料の完全統一を行う方針が示されている。1月に開催された豊岡市国民健康保険運営協議会でも賛成多数で可決されており、賛成である。

（ひかり議員）

3月
定例会

議案審議

2月29日～3月28日（29日間）

意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。

議案名等	豊義会																令和とよおかクラブ		ひかり		日本共産党 豊岡市会議員団		豊岡市議 会公明党		会派おそろ	審議結果
	浅田徹	荒木慎太郎	岡本昭治	木谷敏勝	小森弘詞	芹澤正志	前田敦司	森垣康平	米田達也	石田清	清水寛	田中藤一郎	福田嗣久	松井正志	太田智博	西田真	義本みどり	上田伴子	須山泰一	村岡峰男	芦田竹彦	竹中理	前野文孝			
第8号議案 豊岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○		
第23号議案 令和6年度豊岡市一般会計予算	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○		
第24号議案 令和6年度豊岡市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○		
陳情第1号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○		

予算決算委員会の意見・要望

2024年度一般会計当初予算

公共施設の包括管理 継続

施設所管部署が施設ごとに行っている保守点検・警備・清掃等の維持管理業務や日常修繕業務を庁内で集約し、複数年にわたり、まとめて民間包括管理会社に発注・管理する事業。

○対象施設 庁舎、コミュニティセンター、図書館、博物館、学校、幼稚園、保育園、こども園、放課後児童クラブなど

○事業期間 2024年度から2028年度まで

○全体事業費 14億4,500万円（債務負担行為）

○予算額 2億7,795万円（公共施設包括管理業務委託料、管理事務所光熱水費、備品修繕費）



▼委員会意見・要望▼

複数の施設を一括して点検・管理することで同じ目線で見ることができ、安全性の向上や長寿命化、維持管理の効率化が図れるものであり、推進すべきである。

また、施設の修繕業務に設計・施工監理を含められないか検討するなど、より一層の効率化を図りたい。

自分ごと化会議 新規

市民と共創し、市民にとって納得度・満足度の高い公共サービスを創るための会議等の開催。

○事業期間 2024年度

○予算額 424万円

▼委員会意見・要望▼

実施にあたっては、地域課題の解決策が市民の負担増になることを避けて、事業改善策または新たな事業の提案につながるよう、運営手法等について十分配慮されたい。

障害福祉施設整備事業費補助（医療的ケアおよび重症心身障害に対応した施設の新設） 新規

専門的な支援が必要で、施設が極めて少ない医療的ケア児（者）および重症心身障害児（者）に対応した施設整備に係る補助金の創設。

○事業期間 2024年度～2025年度

○予算額 2億円（財源：豊岡市福祉基金）

▼委員会意見・要望▼

但馬初の施設整備に非常に大きな支援となることと期待する。医療的ケアを必要とする方々にとって長年の願いである。今後、運営者の選定へと進んでいくことと想定されるが、補助金を出して完結ではなく、今後も運営者とともに、障害の度合いに関わらず但馬地域の医療的ケアを必要とするすべての人にサービスの提供が行える体制づくりに積極的に努められるよう、強く要望する。

学校給食費の段階的改定 新規

急激な物価上昇に伴う食材料費の大幅な値上がりに対応した適正な水準の給食費を設定する。

ア. 2025年度以降の給食費は、物価変動に連動させて毎年度決定する。

イ. 給食費改定に伴う保護者負担額は2027年度まで4年かけて段階的に引き上げることとし、改定後の給食費と段階的に引き上げた額との差額を公費負担（3年間）とする。

○事業期間 2024年度～2027年度

○2024年度予算額

前年度比引上げ分材料費 4,435万円（うち児童生徒分公費負担額 2,563万円）

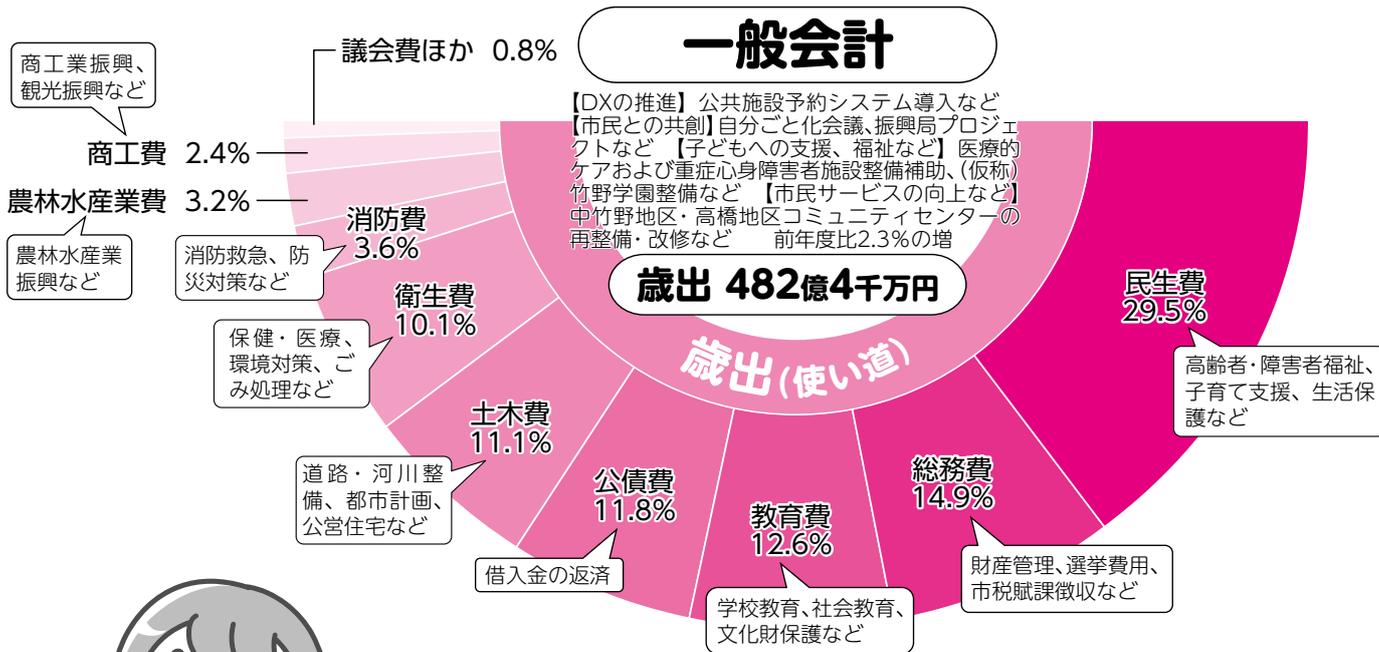
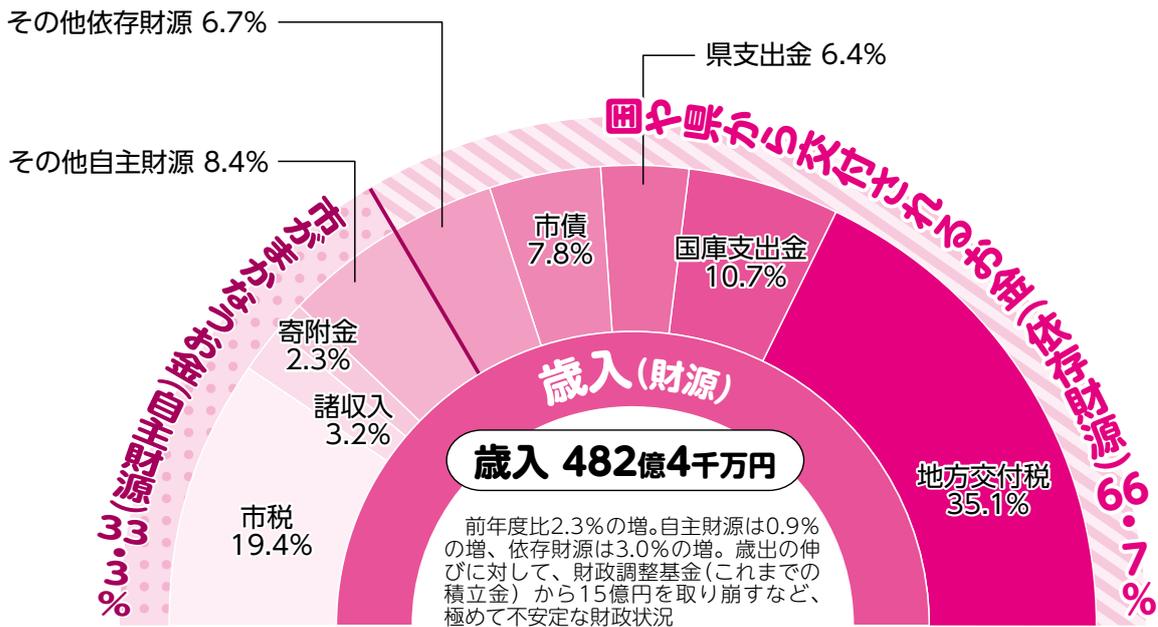


▼委員会意見・要望▼

毎年度価格決定する施策として、保護者への急激な負担を緩和するため、市が一部を負担しながら適正な水準の給食費とされたい。

また、質や量、栄養バランスを保ち、学校給食の安定供給に努められたい。

2024年度一般会計予算の内訳は？



市民一人当たり予算額(一般会計)
一人当たり**631,009円**の予算
前年度比**23,469円UP↑**
※2024年1月末人口76,449人から算出

民生費 186,121円 4,718円UP↑	総務費 94,165円 6,549円UP↑	教育費 79,442円 9,669円UP↑	公債費 74,600円 3,883円DOWN↓
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------

土木費 70,362円 4,184円UP↑	衛生費 63,799円 2,400円UP↑	消防費 22,601円 2,102円UP↑	農林水産業費 20,091円 2,770円DOWN↓	商工費 14,859円 441円UP↑	議会費ほか 4,969円 59円UP↑
------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	---	----------------------------------	----------------------------------

3月定例会

※ここに掲載する質問・答弁は、3月12日～15日のものです。
内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

一般質問に18人

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、
さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

市議会の本会議が
インターネットで
ご覧になれます！



インターネットにより、定例会の様子をライブ中継と録画中継で映像配信しています。
ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継

検索



スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!

代表質問

木谷 敏勝 (7ページ)

- まちづくり
- 危機管理の考え方
- 新文化会館と芸術文化観光専門職大学
- 但馬空港滑走路延長やジオパーク認定に向けての取り組み
- 市政運営の現状と課題、改善策

福田 嗣久 (7ページ)

- 2024年度当初予算の考え方
- 新文化会館整備
- 子ども医療費無料化の実施
- 教育行政の方針と施策の展開

太田 智博 (8ページ)

- 市長総括説明
- 新年度予算
- 教育行政の方針と施策の展開
- 主要事業の概要

上田 伴子 (8ページ)

- 市長総括説明
- 教育行政の方針と施策の展開
- 令和6年度予算

芦田 竹彦 (9ページ)

- 市長総括説明
- 教育行政の方針と施策の展開

個人質問

村岡 峰男 (9ページ)

- 市長総括説明
- 令和6年度予算
- 農政

小森 弘詞 (10ページ)

- 公共施設整備
- 通学路整備
- 経済対策
- 災害・防災対策

前野 文孝 (10ページ)

- 災害対策
- 教育
- 医療体制
- 外出支援サービス助成事業の見直し
- 人口減少対策
- 経済対策

義本 みどり (11ページ)

- 保育必要性の判断審査
- 育休退園
- 一時保育サービス「ママの休日プレゼント」
- 会計年度任用職員の処遇改善
- 専門知識(資格)を持つ職員
の処遇

石田 清 (11ページ)

- 農業の担い手不足と農地・農業政策
- 商工業の人手不足
- 中学校における情報教育

芹澤 正志 (12ページ)

- 大阪・関西万博
- 芸術文化観光専門職大学
- ユニバーサルツーリズム
- 公共交通

田中 藤一郎 (12ページ)

- 市長総括説明と地方創生
- ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂性)の推進と教育政策

前田 敦司 (13ページ)

- 山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの再審査
- 各種計画実行に関する市民との共創

森垣 康平 (13ページ)

- 情報戦略
- デジタルトランスフォーメーション推進
- 出石温泉(温泉ノ森「乙女の湯」)
- 防災施策

荒木 慎太郎 (14ページ)

- 不登校児童・生徒へのケア
- 市長の目指すビジョンと予算「自分ごと会議」
- 若者会議

岡本 昭治 (14ページ)

- 新文化会館建設
- 豊岡市小中一貫教育「豊岡ここのとりプラン」
- 新年度における地域コミュニケーション支援策

森林伐採のルールと伐採後の造林

清水 寛 (15ページ)

- 市長総括説明
- 教育行政の方針と施策の展開
- 能登半島地震と災害対策

須山 泰一 (15ページ)

- 新年度の市民負担増
- 市民の要望にこたえる市政
- 奨学金返還支援

在校生に積極的な働きかけを！

答 つながりを強くしていくことが重要

問 来年4月に初めて芸術文化観光専門職大学の学生が卒業することになる。在校生への積極的な働きかけが必要。在校生に行政の役割の一部を担ってもらい関係を深める仕組みはできないのか

答 在学中いかにして豊岡とのつながりを強くすることができかが重要だと考えている。就職支援については専門職大学のキャリアサポートセンターと連携をし、市内企業等の求人情報や合同企業説明会開催などの情報提供を通じて、学生の就職、定住に向けた取り組みを行っている。

問 津波警報が発表されると自動的に対策本部が設置されると思っていたが市長の判断次第なのか

答 津波警報が発表されると自動的に対策本部が設置されると思っていたが市長の判断次第なのか

問 新文化会館の遅れに伴い負担額が増えると思われる経費確保と、着実に建設されるための具体的な戦略について考え方はどうか



豊岡市の文化活動が停滞しています
(新文化会館建設予定地)

問 地域の人口減少、公共交通機関の縮小、学校の統廃合等に伴い、除雪の認定路線と除雪箇所の作業順の見直しが必要と思われるが、考え方はどうか

答 小学校の統廃合や空き家などで歩行者や車両の通行が極端に少なくなる路線を対象に、地元の方と協議して見直しを図ることとしている。

不登校児童・生徒への対応は

答 適切な支援で社会的自立へつなげたい

教育行政の方針と施策

問 不登校児童・生徒数の増加の原因と対策は

答 不登校児童・生徒数は過去10年間で本市で1.8倍。コロナ禍での生活環境の変化はストレスや生活リズムの乱れを生み、大幅な増加につながった。適切な支援と多様な学びの場の提供により、社会的自立につながっていききたい。

問 一人でも多くの市民に「豊岡に住んで良かった」と感じてもらえるまちにするため、力強い地域経済の構築をどう進めるのか

答 豊岡市経済ビジョンで社会の変化に対する適



「豊岡に住んで良かった」と感じてもらえるまちへ

問 工事費が増加すれば長期財政見直しは計画しどうなるか

答 工事費が20億円増加すれば交付税措置は約半分。財政的には大変厳しくなる。



木谷 敏勝 議員
豊義会



福田 嗣久 議員
令和とよおかクラブ





太田 智博 議員
ひかり



市長が残り一年でやりたいことは

答 「自分ごと化会議」を成功させたい

で考えたい。

問 「自分ごと化会議」の狙いと目指すべき方向性についてはどうか

答 無作為抽出により選ばれた多様な性別・年齢・居住地の市民に参加していただき、公共サービスとの在り方などを考えていくことにより、よりよいものに変えていく。何をやるのか、どうやってやるのかなどを適切に選択するとともに、互いがその選択に納得感を持つる仕組みが必要であり、「自分ごと化会議」はその仕組みの一つだと考えている。

問 演劇のまちづくりでは、市の関わり方を変えていくとのことであったが、どのように変わったのか

答 豊岡演劇祭の実行委員会から市長が外れ、予算についてもこれまでどおりの予算づけは難しいことを常に伝えている。

介護人材確保・定着の支援

問 介護職員を対象に処遇改善されるが、市内の介護事業所へ従事する介護職員も対象となるのか

答 2月から5月までの賃金改善の補助金については、市内事業所勤務なら市内外問わずに対象となり、介護職員以外の職

問 有料化へ変えるのは大変難しい。現在は寄付という形をお願いしている。今後はまた違う方向

で考えている。



介護施設事業所の充実を

議員のひとこと

介護施設の需要が高まる中、介護施設に入所したくても介護人材がないことが理由で入所できないことがないように介護職員の処遇改善の充実を。



員も対象となる。6月から介護報酬改定がなされ介護業界全体のベースアップが見込まれる。

子ども医療費無料化拡充はいつか

答 効果検証をして計画をたてていきたい

問 国保のペナルティが18歳未満まで廃止されるので、但馬でも、高校3年生までの医療費無料化がすすむが、本市はどうすすめていくのか

答 当初の予想より、医療費が増加して、将来的な財源の見直しが必要となったので、他の財源をみながら、財政計画をたてる必要がある。

議員のひとこと

無料化は子育て家庭支援の一丁目一番地。財源確保で本気度が問われる。



ジェンダーギャップ解消への取り組みの前進を！

問 日本は、ジェンダーギャップ指数が146か

国中125位。女性の賃金が低い、政治、行政、



上田 伴子 議員
日本共産党豊岡市会議員団



小中学生の授業で、講演や学習をしている。

問 阪神間では、女性の自治会長が選ばれているが、本市では女性は選ばれていない。また、PTA会長に女性を選ぶという選択肢さえない。これらについてどうか



ジェンダーギャップ解消の施策を展開中

答 そういうことを変えていく、検証していく動きもあり、福田区のフォーアアップ講座で萩原なつ子先生のワークショップが開かれた。

答 萩原なつ子啓発アドバイザーを講師に、コミュニティで研修をした。企業では「ワークイノベーション推進会議」に参加する企業が11事業所になった。小中学校の教員向け、幼・保・こども園の教員、PTA向け、

議員のひとこと

女性も男性も共に、リーダーとなり、協力して進めていくように、一人一人が自信をもって発言し、行動できる豊岡市に！



子ども医療費高3までの無料化は

答 高校3年生まで拡大する考えは持っていない

市長総括説明から

問 令和6年度の当初予算編成、考え方はどうか
答 「主人公は市民」の思いの下、DXの推進と市民との共創のまちづくりに向けて、新たな次の一歩を踏み出す。

問 来年度、中学3年生まで無料化の実現へ力を注ぐ。高校3年生まで拡大する考えは現時点では持っていないが、中学3年生までの無料化が実現した後、社会情勢や市の財源状況などを見極めた上で判断する。
答 小・中学校に校内サポートルームを設置するが、どのような体制で支援するのか
問 小学校の支援員については、児童数の多い4校に配置する。不登校の要因は多種多様であり、その子にあった支援を考える必要がある。ケース会議などにより、個に応じた最適な支援策を検討し、必要に応じてICTを活用するなど計画的に支援を進めていく。

不登校対策

クチンは4千円、不活化ワクチンは1回につき1万円を補助する。

当初予算編成に際し、人件費を含む対象経費の合計額を枠配分予算とし、部長の権限により予算を編成する方式に改める。ふるさと納税のさらなる獲得や市有財産の売却、貸付け等を推進し、歳入の確保を図るとともに、歳出を削減する行財政改革を進め、持続可能な行政サービスに向けた財務体質の確立を図る。

問 子ども医療費、高校3年生まで無料化すべきと考えるがどうか
答 帯状疱疹予防接種補助
問 県が補助制度を創設したことを受け、本市も50歳以上の市民を対象に行う。補助金額は、生ワ



帯状疱疹予防接種は接種費用の2分の1を助成!



芦田 竹彦 議員
豊岡市議会公明党



個人質問

「オーガニック宣言」野菜は

答 有機栽培を増やししながら、出口を確保したい



これが究極のオーガニック野菜だ

て年々地ならしが行われていく状況だ。払いたくても払えない。今以上に引き上げられて

問 「オーガニッククビレッジ宣言」は、学校給食にコウノトリ米を全給食に提供するだけか。「環境創造型農業」の野菜提供はどうか
答 昨年4月宣言をした。学校給食の米を全量有機米に転換、有機野菜の利用も増やすとしている。米は「つきあかり」で、生産農家に10アール当たり2万円の助成を予算化している。野菜は「コウノトリの舞」を含む有機栽培を増やしながらか、しっかりとした出口を確保することで生産拡大につなげたい。

問 青野菜やニンジン、ジャガイモを導入。生産農家は10軒程度。団体を作って相互に連携しながら納入されている。
答 国保は相互扶助である。被保険者の数は、少子高齢化、人口減少、団塊世代の後期高齢者保険への移行で減少する一方だ。医療費は医療の高度化、コロナ感染症の影響、診療報酬の改定などで増える。必然的に国保税はアップすることになる。

議員のひとこと
農家はできるだけ農業は使いたくない。消費者の本当の協力が欲しい。

問 提供している野菜は何か、また「コウノトリの舞」の生産農家数は何軒か
答 国保は県単位化で2030年度一本化に向け

国保税の大幅引き上げは認められない



村岡 峰男 議員
日本共産党豊岡市会議員団





小森 弘詞 議員
豊義会



津波警報発表時の市の対応は

答 全庁的に問題視し、経験を踏まえて備えたい

問 なぜ避難指示を出さなかったのか

答 津波警報から一定の時間を経過した後に避難指示を発令するということは、全体に一律に発令することになり、避難する必要のない人に対しても避難を呼びかけるようなことになりかねない。二次被害を懸念して発令しなかった。

問 避難指示を出さなかったこと、災害警戒本部を設置しなかったことについての評価は

答 津波警報の場合に避難指示を発令するのがセオリーかと思うが、当時の状況を踏まえて判断した。現在、避難行動についてアンケート調査を行っており、結果を十分分析して今後の対応にかしたい。

問 津波避難場所については検討するのか

答 今回の状況を踏まえて、施設として開けられるところはないかどうかを含め見直しは図ってきたい。

議員のひとこと

住民の自助・共助で対応した部分が大きい。公助を担う市の役割が問われている。市として今回の対応を十分に評価・検証し災害対応能力の向上を図るべきである。



通学路整備

問 国道426号中陰地区内における通学路整備

答 事業の内容と進捗は上陰交差点から中陰



あり方の見直しが求められる津波避難場所

交差点の約550メートルの区間において、道路拡幅と自転車専用通行帯を整備し、通学児童をはじめとする、歩行者と自転車の安全対策を図る。県事業として昨年度から測量調査設計、今年度より上陰側から物件調査等に着手。

市としても、用地交渉事務を県から受託し協力しながら通学路の安全確保に向けて取り組む。

避難指示がなかったのは適切か

答 その時点で適切な対応だったと考えている

問 今回、避難指示を出さなかったが、市民の命を守るという立場からこの判断は正しかったのか

答 暗くなる時間帯で、寒い時期、警報発表から時間が経っており、適切だったと考える。

問 市の対応が遅かったのではないか

答 おっしゃるとおりだ。職員参集を待った。問 地震発生時、市長は自宅にいて、地震を知ってまず、浜辺の方に電話したが、これは正しいか

答 それは本当か

問 次に関機管理部長に電話するまで40分間、自宅にいたのは正しいか

答 市役所に行く準備をしていた。

問 あまりに時間がかかり過ぎた。電話で避難指

示を出すべきだったのではないか

答 到着後、協議した。問 内閣府の避難情報に関するガイドラインでは津波に対しては全て避難指示ではないか

答 そのように記載されている。

問 去年の台風7号の時に市長はご自宅にいて、災害対策本部にオンラインで参加したと言ったそうだが、今回はそのようなことはなかったか

答 ない。

問 避難所の鍵がなくて困られた。地震は今来るかもしれない。近所の方に預かってもらうなどすぐやるべきだがどうか

答 現時点では、ガラスを割って入ってもらうことにしてい

前野 文孝 議員
会派おおぞら



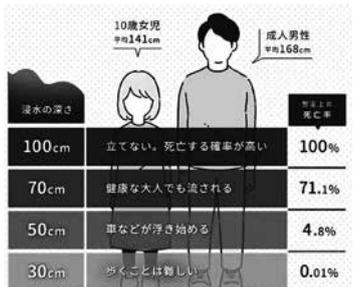
放課後児童クラブの警報時の開設については危機があれば開設しな

い

問 学校や幼稚園が休校や休園となっても、基本的には開設する。

議員のひとこと

災害対応には市長がもっと危機感とリーダーシップを持って対応していただきたい。



津波は低くても危険！
まずは避難を！

写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧いただけます

育休退園での子どもへの影響は

答 裁判事例も示されており何らかの影響はある

問 育休退園は既に通園している子が退園させられる理不尽な制度である。本市の実態はどうか

答 待機児童が発生しているのが2歳児クラスまでは、原則退園になる。
問 待機児童が多い都市部でもやめていて、県下41市町で豊岡と赤穂のみ。本市は、3歳児以上は集団が適している、もっと小さい子は家で見るべきと捉えているのではない



この44市町
なで育休退園しているのは豊岡と赤穂だけ！



議員の
ひとこと
所沢市で保護者が裁判に踏み切った事例がある！

会計年度任用職員の適切な給与決定

問 会計年度任用職員の報酬は、人事院勧告で下がる時は下がるが、上がる時は上がらない。昨年総務省から「会計年度任用職員の適切な給与決定」という通知が出ているが、本市および但馬管内の状況はどうなっているか

答 通知は正規職員の給与改定が行われた場合は、準じて給料表を改定することであり、本市は給料表の改定は見送ったが現在の給料表で昇給はした。一方、他市町は改定した。

問 会計年度任用職員の報酬は、人事院勧告で下がる時は下がるが、上がる時は上がらない。昨年総務省から「会計年度任用職員の適切な給与決定」という通知が出ているが、本市および但馬管内の状況はどうなっているか

答 再認識した。



議員の
ひとこと
給料表改定の方が昇給額は大きい！



義本みどり 議員
ひかり



農地を守る農業経営体のあり方は

答 認定農業者と半農半X型人材を育成する

問 経済合理性からいって、赤字が見込まれるというところならば、いくら農業に魅力があっても別の職を求めざるを得ない。持続可能な農業経営体の認識について問うが、農業、ビジネスにいう「強い経営体」とは何か。半農半X型人材とは何か

答 「強い経営体」とは、農業従事者1人当たりの年間の農業所得が400万円程度、年間の労働時間が1800時間程度の経営を行う認定農業者である。半農半Xは、小規模では経営が成り立たず、何かを組み合わせて職業にするの考え方だ。農地を守っていくためには、大規模農家だけでなくこういう方々にも活躍していただく必要がある。

問 中学校の技術科教員は、情報とコンピュータを指導する教員だが、2022年度の全国調査で、23%が普通免許を有する者を採用することができない場合の臨時免許で教える人か、担任すべき教員を採用することができないと認めるときに、1年に限り校内の他の教科の免許状を有する者に対し、許可される免許外教科担任だった。市の中学校の技術科教員の臨免・免外の状況はどうか



農業の担い手を支えて自給率を上げる。食料安全保障の要だ

答 市独自の中小企業支援策である、ステツプアップ支援補助金において、販路の拡大や新分野への進出のみならず、生産性向上への支援も続けたい。

問 2023年度の状況は、技術科免許所有の正規教員が3名、免許所有の臨時講師が1名、免許外教員が8名である。県教委の方針は、現在作成中であるが、今後市としての対応を検討したい。



石田 清 議員
令和とよおかクラブ





今後専門職大学に期待するものは

答 地域を支える人材として定着してほしい



芹澤 正志 議員 豊義会



問 芸術文化観光専門職大学について、全学年がそろって完成年度を迎えるにあたり、市として来年度以降、卒業生に期待するものと課題は何か
答 初めての卒業生の進路が気になる... 豊岡での就職や、何らかの形で豊岡に関わって... 卒業後も引き続き地域を支える人材として定着してもらうために、市内企業などのさらなる情報発信や交流会を実施していく。学生がこの街で暮らしたいと思ってもらえるように、豊岡に愛着とつながりを持つていただくことが重要と考える。
問 今後の大学の発



地方創生にとって重要な専門職大学

議員のひとこと
市民が安心して移動できるユニバーサル社会の実現に向けての第一歩です。

と同程度確保できる見込みで、さらに充実した演劇祭が開催されるものと認識している。
問 ユニバーサルツーリズムの推進に向け、市ができる新たな取り組みや考えは
答 市が支出する豊岡演劇祭実行委員会への負担金は減額しているが、文化庁や兵庫県但馬県民局の補助金を今年度以上に活用することで、実行委員会の収入予算は今年度

環境整備は今後もその方向か

答 通学路整備、公園は重点的に整備していく



田中藤一郎 議員 令和とよおかクラブ



問 ここ数年で市民の安心安全な環境整備、道路公園等まずまず進んでいるが、今後もその方向性なのか
答 通学路を優先的に整備し、公園は安全性を重視し整備している。
問 高齢者の方のランドゴルフなどの要望は推進していただけるのか
答 しっかりと意見を聞いて整備していきたい。
問 想定以上に子どもたちが激減している状況で今後、私立園での経営が厳しくなり、教育の質の低下も予想される中で環境整備、運営に対する考え方は
答 少子化を注視し、持続可能な幼児教育、保育環境を整え、教育の質の低下を招かないようにする。



今年度も桜のように満開の年になりますように！

議員のひとこと
子どもたちは豊岡市の宝。しっかりやっていたきたい。

DXを推進している市として企業誘致を行う際、今後飛躍の可能性のある企業に対する積極的な誘致政策はどのように進めていくのか
答 誘致を促すために、IT事業所に向けた工場等設置奨励金や雇用奨励金活用の要件緩和や、事業所開設に係る補助金、地域課題を解決する市単独補助など取り組みを強化しているところだ。
問 いよいよ厳しくなる人口減少に向けて地域活性化策と働き手確保への力強い経済政策は
答 移住定住者や外国人労働者の受け入れ環境の整備など、地域活性化の視点も含めて研究していく。

ジオパークに関する役割と責任は

答 連携しながら主体的に取り組む責任がある

問 山陰海岸ジオパークがユネスコ世界ジオパーク認定を受け13年が経過した。ジオパーク認定には4年に一度の再審査があり、2022年に行われた審査において、改善が必要という指摘を受けている。本市の役割と責任は

セスの確保については、来園されるすべての方への幅広い対応を可能とする施設整備の導入等、ハード面での対応も検討している。

答 ジオパーク推進協議会と連携しながら、本市が主体的に改善に取り組んでいく責任があると認識をしている。玄武洞ジオサイトへの安全なアク

トクイベントなどさまざまな形で活用される玄武洞



トクイベントなどさまざまな形で活用される玄武洞



前田 敦司 議員

豊義会



子育て関連の連携強化

問 子どもの健全育成には、学校だけではなく、家庭・地域との連携は欠かせないものだと考える。現在は学校と家庭の連携や役割分担を説明する機会が十分ではなく、家庭

議員のひとこと

ジオパークは外部の評価も高く、インバウンド需要も高まっている。観光事業者との連携強化と必要な施設整備を行い、今まで以上の活用を。



議員のひとこと

連携することでできる子育て環境の拡充もある。相性の良い地域コミュニティとも緊密な連携を！



によって考え方が異なるように感じ、共通の説明の機会が必要だと考えるが、市の考えは

答 保護者の子育てや教育に対する考え方が多様化しており、学校や年度により差はあるが、決して十分な状況ではない。引き続き保護者への丁寧な説明に努めていくとともに、学校・保護者・地域が連携し、それぞれの考え方をすり合わせながら、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進める。

休業中の出石温泉の現況はどうか

答 契約通りの運営をするように申し入れている

問 無償譲渡された出石温泉（温泉ノ森「乙女の湯」）は、現事業者が継続経営困難となった場合、契約ではどうなっているのか

答 年限により金額は変わるが、返還しなければならぬという条件で交付している。

問 10年間は温泉として利用する。できない場合は市が契約を解除する。解除した場合は、建物は市に返還するという契約になっている。

問 譲渡の際に出した補助金も返還されるのか

情報戦略

議員のひとこと
開業当時のように入浴客で賑わう温泉復活を望む。



問 公式ホームページ作成において、担当部署の意見はどのように反映しているのか

答 秘書広報課が、随時担当課とコミュニケーションを取り、アドバイスをしている。

問 市民向けの情報発信として、市長自ら公式ホームページやYouTube等SNSを利用して発信するとい

議員のひとこと

豊岡市が中心となり、能登半島地震で本市にも津波警報が発表された時の対応等の経験を活かし、地域の特性を考慮した防災計画を作っていただきたい。



森垣 康平 議員

豊義会



コミュニケーション教育の成果は

答 とりわけ中学校の授業が変容してきたこと

問 不登校対策アクションプラン修正の特徴はどうか
答 一人一人の多様なニーズに応じた不登校対策を推進し、子ども



風景は同じでも内容は常に進化し続けています

の社会的自立を目指すことをテーマとし、社会の中で他者と関係性を保ちながら、自分の意思と判断で進路を開くため、適切に依存したり、他者の力を借りたりして自己肯定感を少しでも高め、自分でやれることを広げていくことを重視する。見直しの観点は、ICT活用も含め、学校はみんなが安心して学べる場所にする、地域はつながりと居場所づくりを広げる、支援関係機関は多様な学

自分ごと化会議

狙いはどうか

答 戦略的政策評価導入をきっかけに、各分野の関係者と市役所が目指す姿や実現手段を一緒に考えるようになったが、関係者以外の意見を聞くことは多くなかった。無作

びの場を確保する、教育行政はケースに応じた効果的な支援を行う。相互に連携しながら、組織的に画的に不登校対策に取り組んでいく。

用により会議参加者以外の方からも提案等をいただくことで行政に関心や関わりがなかった市民に、関心、関わりを持つていただく手段もある。従来の市民との共創をさらに強化する手段の一つとして導入する。

議員のひとこと

しない理由やできない理由探しより、できることから行動しませんか。



清水 寛 議員
令和とよおかクラブ



高齢者に補聴器購入費の助成を

答 購入補助の創設は今後の検討課題である

問 高齢者に補聴器購入費を助成する自治体が増え、豊岡でも制度をつくってほしいと要望がある。難聴が認知機能に及ぼす影響と補聴器の費用についてどう考えるか
答 難聴になればコミュニケーションが取りづらくなり、閉じこもりがちになる等、生活の質の低下が考えられる。医学誌「ランセット」の論文には、難聴が認知症の危険因子の一つであることが指摘されている。



耳かけ型補聴器 高額なため購入をためらいがち

一般的な補聴器の耳かけ型で5万円から数十万円の間で、購入が困難な方もおられる。補聴器購入補助の創設は今後の検討課題である。

問 大学の卒業後に奨学金の借金返済を背負って社会に出る学生が多い。この春より兵庫県が奨学金返済支援制度を拡充するが、本市も取り組みはないか
答 本市は制度導入をしていないが、若者が就職や居住地域を検討する際に、豊岡を選んでもらうための有効な判断材料になり得ると考えており、引き続き検討したい。

問 非正規雇用が全労働者の約4割まで広がり、その7割が女性。図書館司書は典型的であり、こういうところから正規化をできないか。
答 ジェンダー問題も含めて今は過渡期と思う。それに向かつて頑張っている状況である。

貸与奨学金の返還支援

図書館と非正規雇用

問 市民の図書館利用の



須山 泰一 議員
日本共産党豊岡市会議員団



政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情

審議結果 賛成多数で採択



提出者 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の兵庫県民の会

代表 尾道 宗継

【要 旨】

全国市区町村の庁舎内で、政党機関紙の勧誘（営業）・配達・集金が無許可で行われていることが問題となっており、その是正のために、令和5年だけで地方議会35か所以上で、庁舎内における勧誘・配達・集金に関する実態調査および自粛を求める陳情が採択された。

全国自治体においては「心理的圧力を感じた」という深刻な実情が次々と明らかになっていくことから、政党機関紙の勧誘に対して心理的圧力を感じている職員がいないか現状把握に努めてほしい。

（項目）
豊岡市役所においても職員が庁舎内で政党機関紙を勧誘されたり、その際に心理的な圧力を感じたという実態が本当にないかどうかを、職員に寄り添って調査・確認するように行政に求めてほしい。仮に心理的圧力を受けた職員がいた場合には、適切に対応してほしい。

【総務委員報告の要旨】

不採択の立場から「政党機関紙の購読は職員との個人契約であり、個人の自由意思に委ねられている。」

また、政党に所属する議員が自治体職員に政党機関紙の購読を働きかけ、配達・集金をする活動は憲法で保障された政治活動であり、購読する職員にとっては個人の思想・信条の自由、内心の自由の問題である。

いかなるものも制約することはできない。」との意見が出された。

一方、採択の立場から「この陳情の内容は、庁舎内勧誘行為の実態調査を求めるものである。職員に寄り添って調査・確認するように行政に求めてほしいとも記載されており、一度調査すること自体は問題ないと考える。」との意見が出された。

【本会議での採択】

賛成多数で採択となった。

その後どうなった?!



12月定例会の委員会・陳情審査における委員会意見と回答

👉 豊岡市立まちなか交流館の指定管理者の指定

施設管理者は前回から関わりがある一方で、創業間もない企業であり、施設の規模や事業目的に沿った経営をし、しっかりと市街地の活性化につながる事業および活動に導いていただきたい。
(建設経済委員会)

👉 当該事業者は、これまでから運営に関わっており、豊岡市公の施設指定管理者選定審査会において、経営状況も含めた審査基準をもって選定されている。

ただ、ご指摘のとおり創業間もない企業であることから、これまで以上にしっかりとコミュニケーションをとり、施設の設置目的の達成にむけて認識を共有し、施設の安定運営と市街地活性化につながる事業や活動につなげていきたい。
(環境経済課)



👉 健康保険証の存続を求める意見書提出の件

マイナンバーカードの健康保険証利用のトラブルについても耳にする機会がよくあり、不安感を持つ国民も多い。加えて高齢者の診療の機会でのトラブルも想定される。そのあたりの対応についても十分に検討されたい。
(文教民生委員会)

👉 マイナンバーカードの健康保険証利用に関する懸念は、全国的なものであると認識している。各自治体が個別に対応するよりも、国レベルで対応の方が合理的だと思われるので、必要に応じ国に対してトラブル防止等に関する働きかけを行っていく。
(DX・行財政改革推進課)



委員会活動報告

防災対策調査特別委員会（2月14日）



防災対策調査特別委員会の様子

今年の元日に発生した能登半島地震。本市においても、震度4の地震、津波警報の発表に伴い、沿岸部に住む市民の方々が実際に避難された。津波到達まで30分との報道を受け、避難場所に指定されている高台や、海から少しでも離れた場所へと大変迅速に避難いただいた。一方で、豊岡市としての対応に、非常に多くの意見、課題が各委員にも寄せられたことから、2月14日、臨時委員会を開き、津波警報への対応が適切であったのか、今後見直すべき対応について確認した。

結果として、幸いにも本市においては大事には至らなかったが、津波警報が発表された際には連動し避難指示として対応すること（今回は1号配備）、避難先で、情報を得にくかったことから市の公式LINEアカウント（今回も津波発生から15回発信）の周知、避難場所の限定される地区についての見直しなど、臨時委員会、3月議会を経て検討を重ねた。市民の生命を守るための防災対策として見直さなければならぬ点を、当局と共有し、今後に活かしていきたい。

管内視察報告

交通網問題対策等調査特別委員会（3月26日）

豊岡出石IC開通に向け （視察先）北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」

今秋に開通予定の北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」の現在の進捗状況について豊岡河川国道事務所ならびに請負業者のご協力のもと管内視察を実施した。

高速道路は、人や物の移動においても大きな役割をもたらすが、地域の活性化、生活環境の向上などにも極めて重要な道路となる。

また、少子高齢化が進む地方にとっては高齢者の救急件数が増加傾向にあり素早い搬送と治療が要求される。このような救急医療業務においても高速道路は命を支える道路として必要不可欠である。

しかし、豊岡道路工事においては、過去に大きな地滑りを起こした崩れやすい土質であるため、開通後の安全確保として、法面やトンネル工事において、想定外の追加工事があったとお聞きした。高速道路は市民の命を守る道路になるが、想定外にも安全第一で工事に従事される方々に感謝しながら、秋の開通を心待ちにしたいと思う。



進捗状況の説明を受ける委員

「市長・市議会議員の同時選挙」「議員定数」についての協議結果

豊岡市議会では「市長・市議会議員の同時選挙」「議員定数」に関し、そのあるべき姿についての協議を重ねてきました。

この度、この2項目について、議会運営委員会での協議結果を下記のとおり取りまとめました。



1 市長・市議会議員の同時選挙について

(経過)

現在、同一年度の春に市長選挙、秋に市議会議員選挙が行われています。その選挙を同時に行ってはどうかという議論を重ねてきました。効率的な選挙執行の観点から同時選挙をすべきだ等の賛成意見がある一方で、そのためには、議員が半年の任期を削って市長選挙前に、議会の自主解散を行う必要がありますが、議員が公約を果たすためにも任期を全うすべきだ等の反対意見がありました。

(協議結果)

議会運営委員会での議論とともに、議長を除く全議員の意見を集約した結果、同時選挙について賛成13人、反対9人でした。「地方公共団体の議会の解散に関する特例法」に基づき議会を解散するためには5分の4以上の議員の賛成が必要であり、必要な賛成が得られないため、協議の結果、見送ることとしました。

2 議員定数について

(経過)

現在、豊岡市議会議員の定数は24人です。現在の議員定数が適切であるかどうか議論を重ねてきました。本市の人口減少の状況を踏まえ、人口規模に合わせ削減すべきだ等の意見がある一方で、多種多様な意見を議会に反映させるためには削減すべきではない、また議会の役割を果たすためには一定数の議員が必要だ等の意見がありました。

(協議結果)

議会運営委員会での議論とともに、議長を除く全議員の意見を集約した結果、あるべき議員定数について、20人とする意見が9人、22人とする意見が4人、24人とする意見が9人でした。協議の結果、2人減の定数22人とする改正条例案を議案として6月議会に提出し、全議員の賛否を問うこととしました。

意見交換会をしませんか？

皆さんの声を聴かせてください！

＝市議会議員（委員会）と意見交換をする団体を募集します＝

- ◆対象／市内の各種団体、グループ
- ◆内容／団体等の活動内容、課題など
- ◆方法／団体等から出されたテーマについて意見交換（90分間程度）
- ◆開催時期および会場／申し込み受付後に、個別に議会スケジュール等と調整
- ◆申込方法／次の事項を記入の上、郵送、ファクスまたはメールで申し込んでください。
 - ①団体等の名称、所在地、活動内容、参加人数、代表者、連絡先（氏名、電話番号）
 - ②希望される開催時期、会場
 - ③意見交換のテーマ
- ◆申込期限／6月12日（水）
- ◆申込み・問合せ／議会事務局 TEL 23-1119 FAX 24-8041
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
- ◆その他／申し込み多数の場合は、議会日程などの都合によりお断り
する場合があります。ご了承ください。



意見交換会の様子

委員会の委員・所管事項

◎委員長 ○副委員長

	総務委員会	文教民生委員会	建設経済委員会
委員	◎岡本 昭治 ○石田 清 上田 伴子 木谷 敏勝 竹中 理 西田 真 松井 正志	◎芦田 竹彦 ○小森 弘詞 荒木慎太郎 太田 智博 須山 泰一 田中藤一郎 米田 達也	◎芹澤 正志 ○森垣 康平 清水 寛 福田 嗣久 前田 敦司 前野 文孝 村岡 峰男 義本みどり
委員会重点調査事項	<ul style="list-style-type: none">・基本構想と市政運営・地方創生施策の推進・移住定住・人口減少対策・地方財政及び行財政改革・公共施設マネジメント・自治体DXの課題と推進・消防行政の推進・地域コミュニティの推進・ジェンダーギャップ解消の推進	<ul style="list-style-type: none">・福祉等の充実・医療の確保・環境衛生・交通安全・防犯対策・教育をめぐる諸問題・子ども・子育て支援・文化財の保護と伝統文化の継承・生涯学習	<ul style="list-style-type: none">・環境経済戦略の推進・農林水産業・商工・観光・特産振興等経済支援、地域活性化施策の推進・有害鳥獣対策の推進・地域内幹線道路の整備促進・都市計画マスタープラン・公営住宅のあり方・下水道事業計画及び地域水道ビジョンの推進・専門職大学と演劇のまち・老朽危険空き家対策

あたたかな笑顔を訪ねて

—議員訪問インタビュー— 有子山城跡を登ろう会 (出石町)

城下町出石開府



CASTLE TOWN IZUSHI
1574-2024



どんな活動を しているの？

急峻な山道を克服したご褒美は、豊岡出石盆地を眼下に収める壮大な景観と、長き風雪に耐え今なお堂々とたたずむ有子山城跡。

2013年「有子山から初日の出が拝めないかな？」と登ってみた4人が目にした主郭から大堀切を隔てた東側に広がる千畳敷は、伐採されたままの雑木倒木に埋まっていました。千畳どころか三、四千畳もありそうな、往時の栄華を極めたであろう屋敷跡や庭園跡は無残なものでした。そんな価値ある史跡をこのままではもったいないと、仲間を集め、同年5月

から9人で作業開始して今年12年目に入りました。毎年3月から11月の年9回、毎回十数名が参加、主郭から西に北に重なるように広がる曲輪、矢穴が残されたままの巨石が転がる石切場、雑草に覆われた野面積みの石垣、もちろん千畳敷も雑木処理、草刈り等行います。

地元の人や全国から訪れる城郭ファン・山城ファンに、また来たい、もう一度登りたいと思ってもらえるようにと頑張っています。今年是有子山城築城450年の節目の年です。321メートルのてっぺんで、山名大名と同じ夢を語るうではありませんか。若い力を待っています。

6月定例会の日程(予定)

開 会	5月31日(金)
一般質問	6月10日(月)~13日(木)
常任委員会審査 (総務・文教民生・建設経済)	6月17日(月)9:30~
常任委員会審査(予算決算)	6月13日(木)※1 24日(月)※2
特別委員会審査	6月24日(月)9:30~
閉 会	6月26日(水)

※1 一般質問終了後に開催 ※2 13時~
・本会議は9時30分から市の議場で開催します。

【傍聴について】

一時保育(無料)もありますので、一時保育利用希望者は1週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を生中継でご覧いただけます。

■問合せ/豊岡市議会事務局

☎ 0796-23-1119

議会広報広聴特別委員会

委員長	前野 文孝
副委員長	前田 敦司
委員	上田 伴子
〃	岡本 昭治
〃	竹中 理
〃	田中藤一郎
〃	西田 真
〃	森垣 康平

▼春爛漫、桜が満開です。マスクなしの会話、会食ができるようになってコロナ前の生活が戻りつつあります。各地のイベントやお祭りも戻ってきました。交流人口を増やして、賑やかな豊岡市にしていきましょう!

▼新年度のスタートです。議員一同、新しいスタートをきって市政が市民の皆さんにとって暮らしやすいものとなるように頑張っていく所存です。議会での審議はインターネット中継でもご覧いただけます。ご意見、ご要望もお寄せください。(うへだ ともこ)

▼今回の議会だよりをお読みいただき、誠にありがとうございました。皆さまに有益な情報をお届けすることができ、大変嬉しく思います。

▼今回の議会では新年度の予算などに關して議論が活発に行われました。積極的な意見交換が行われ、新年度に向けての予算が議決されました。

▼議会だよりを通じて、議会の情報を共有し、皆さまとのコミュニケーションを深めていくことが、私たちの大きな使命であります。今後ともご期待ください。(たけなか さとる)